

メールマガジンアーカイブ

2009/11/19 井上さん、ついに投資家になる！！(9)

[メルマガアーカイブTOPに戻る](#)[リスクマネジメントラボラトリーのHPへ](#)

すぐにできる！Vol.22
忙しいドクターのための資産運用

～ 井上さん、ついに投資家になる！！(9)～

こんにちは、リスクマネジメント・ラボラトリー 代表の中澤です。

このシリーズでは積立投資についてRML社のスタッフの例を対談形式でお伝えしたいと思います。

37歳女性・RML社IT戦略室の井上が、将来の為に資産運用をどうすればよいか？（まったくの素人）相談を始めました。。



[前回のコラム「井上さん、ついに投資家になる！！\(8\)」バックナンバーへリンク](#)

井上さんの投資の現状(2009年9月末)

	累計投資額	現在の評価額	評価損益	評価損益率
2008年6月末	2,100,000	1,853,005	-246,995	-11.76%
2008年9月末	2,400,000	1,789,743	-610,257	-25.42%
2008年12月末	2,700,000	1,699,959	-1,000,041	-37.04%
2009年3月末	3,000,000	1,986,308	-1,013,692	-33.79%
2009年6月末	3,300,000	2,574,375	-725,625	-21.99%
2009年9月末	3,400,000	2,865,967	-534,033	-15.71%



日興での積立は7月までで停止

毎月の積立	2,300,000	2007年9月から2009年7月(毎月10万円)。累計投資月数23ヶ月。
2008年2月	600,000	毎月積立している4種類のファンドを追加購入。
2008年4月	500,000	数年で解約する可能性もある資金なので海外債券ファンドを購入。

2009年8月	2,947,818	日興で保有している分をすべて解約。 その分で楽天グローバルバランスファンドにシフト。
---------	-----------	---

井上さんは8月末に保有している5つのファンドを全て売却し、売却代金を全額を楽天グローバルバランスファンドの購入にあてました。

投資元本3,400,000円に対して売却代金は2,947,818円、 452,182円(約 13%)となりました。

- 後日 -

井上 昨年末には37%もマイナスだったものが9月末には15%のマイナスまで回復したんですね。

中澤 3月にアメリカで銀行に公的資金を注入したあたりから潮目が変わりましたね。昨年9月のリーマンショックに端を発した金融危機はひとまず収まり、景気の動向に注目



が集まるように変わりました。

井上さんが一番多くの配分をしていたステートストリート外国株インデックスファンドのレポートを見ると、今年春に5,000円台の半ばまで下がっていた基準価額が8,000円台まで半年間で急回復しているのがわかります。

↓ステートストリート外国株式インデックスファンドのレポートはこちら

<http://www.statestreet.co.jp/public/pdf/SSFForeignEquityIndexOpen.pdf>

井上 本当ですね。このような結果を見ると年末から春先にかけて買い増しをしておけばよかったと悔やまれます。

中澤 でも実際には年末から春先にかけての間、新規に購入する人や追加の買い増しをする人よりも損をしてでも売却する人の方が多かったんですね。値段が安くなるということは買う人よりも売る人のほうが多いということです。後から見ると簡単そうですが、半年前の経済状況を考えると、その最中に購入するのはなかなか難しかったです。



井上 確かにそうですね。昨年末には年越し派遣村などができ、とても不安でした。株価も大きく値下がりしていましたし、テレビや新聞などでももっと下がるようなことを言っていましたよね。でもそのような時にタイミングよく買い増しをするよい方法はないんですか？

中澤 タイミングを的中させることはなかなか難しいと思いますが、比較的安心して安い時期に購入する方法は2つあります。

一番目の方法は実際に井上さんも実行している方法ですが、**毎月定期的に値段に関係なく購入する方法**です。

井上さんの場合は毎月10万円を継続して購入していますが、こうすることによって価格が高いときには少ない口数、価格が安いときには多くの口数を購入することができます。

また、毎月継続購入をするので毎月の価格の上下をあまり気にしなくて済むようになりますよね。

井上 確かにそうですね。私も安いときにちゃんと追加購入していたんですね。

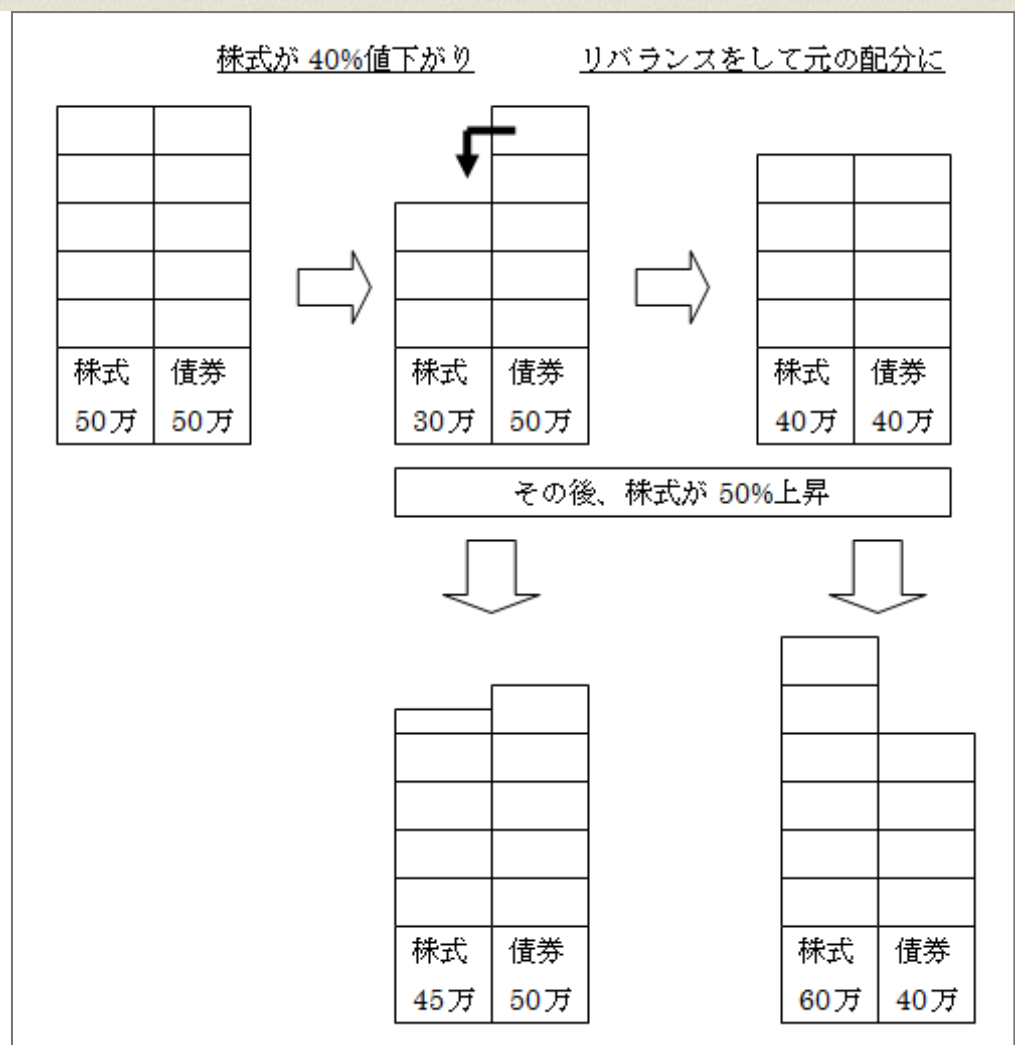
中澤 もう一つの方法は**リバランス**です。

例えばスタート時点で株式ファンドと債券ファンドをそれぞれ50万円、合計100万円購入したとしましょう。その後、株式ファンドは30万円(40%)に値下がりし、債券ファンドは値動きがなかったとします。

このような状態になったときに株式と債券の割合を元の割合である1:1に戻すことをリバランスといいます。具体的には債券部分の10万円を売却して値下がりしている株式を10万円分購入します。

これにより株式40万円、債券40万円になりもとの割合である1:1になります。

仮にその後、株式が5割上昇したとすると、リバランスをせずに株式30万円:債券50万円のままだといたケースでは株式45万円:債券50万円の合計95万円に、リバランスをして株式40万円:債券40万円にしたケースでは、株式60万円:債券40万円で合計100万円になります。



井上 本当だ。マジックみたいですね。

中澤 リバランスをすることで自動的に安い資産を購入し、高い資産を売却することになります。勿論、必ずしも一番の安値や高値でリバランスをできるとは限りませんが、基本配分がある程度以上崩れた場合にリバランスをすると決めておけば気持ちに左右されずに結果的に安いときに購入することになります。ただ、実際に個人投資家がリバランスをきちんとするのは結構大変です。ある程度機械的に配分の調整をするといっても値下がりしていないものを売却して大きく値下がりしているものを購入するのはかなり勇気が要ります。また、値上がりしているファンドを売却する場合は値上がり益に税金もかかりますし、購入するものには購入手数料がかかる場合もあります。

井上 確かにそうですね。自分でリバランスをやるのは大変そうですね。まして、私のように普段あまり値動きを見ていない投資家がリバランスをするのは現実的には難しいような気がします。

中澤 実は今回購入した楽天グローバルバランスファンドは、一つの商品の中に株式や債券など複数の資産が組み込まれています。当初の配分から大きく隔たりが生じた場合には投信会社のほうでリバランスをしてくれますから井上さんのようにいつも値動きを見ていない投資家にとっても安心です。また、投信会社でリバランスをした場合は一般に個人投資家がリバランスをするときと比べ税金や手数料などが割安になります。
↓ 楽天グローバルバランスファンドはこちら
<http://www.rakuten-toushin.co.jp/fund/rigba/index.html>

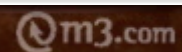
井上 いままで以上に幅広く国際分散され、さらにリバランスもしてくれるならいい意味で安心してほおっておけますね。

投資についての疑問、質問等はまずはお気軽にメールにてご相談ください。メールにて対応させていただきます。

 積立投資について、相談したい

是非、コンシェルジュにご相談ください！

[▲ PAGE TOP](#)

 m3.com

Copyright 2013 RML.All Rights Reserved.